

2017年(平成29年)
2/1号

第1853号

発行日/毎月2回(1日、15日)



まちだ

市の宣言

- 男女平等参画都市宣言
- 非核平和都市宣言
- 青少年健全育成都市宣言
- 交通安全都市宣言



発行 ● 町田市 編集 ● 政策経営部広報課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
市役所の代表電話 ● 042-722-3111
市役所の窓口受付時間 ● 午前8時30分～午後5時
ホームページ ● <http://www.city.machida.tokyo.jp/>

町田市
ホームページ
QRコード



今号の紙面から ● 4面 臨時福祉給付金(経済対策分)のお知らせ ● 8面 リサイクル広場 in 町田シバヒロ

育児、教育の
しやすい町

住民同士の
コミュニ
ケーションが
活発

みなさんなら どんな未来を描きますか。 まちづくりのアイデアの種!

親子で生活
しやすい町

婚活
支援

空き地の
活用を

昨年12月に子どもセンターまあちで実施した「2030年の未来へ向けたワークショップ ずっと住みたい町田へ」。このワークショップでは、町田市未来づくり研究所の提言「まちだニューパラダイム 2030年に向けた町田の転換」を題材に、集まった高校・大学生世代のみなさんが描く町田の未来を話し合い、若者ならではのアイデアがたくさん生まれました。

8面には、「まちづくりってこんなにオモシロイ! 未来のまちを自分で作る!」講演会のお知らせを掲載しています。併せてご覧ください。

問 市民協働推進課 ☎724-4362

[machida city](http://www.machida-city.jp)

職場体験を
受け入れて
くれる企業

街中でいろんな
イベントをやってみる

子どもセンターで
宿題をみてくれる
高齢者がいれば、
健康寿命が延びる
かも

子どもの塾代も節約
できるかも

地元企業の職場体験を
増やしてもらい
町田への就職者を増やす



ワークショップ参加者の声

加藤菜奈恵さん(大学1年)

Q.1まちだにこれからも住みたいと思う?
新宿や横浜に行くのに近く、駅を出れば洋服店や食事処に困らないので、これからも住みたい。

Q.2どんなまちだにしたいと思う?
地域の人との交流を増やし、「あたたかい街」にしていきたい。

山中聡士さん(専門学校1年)

Q.1まちだにこれからも住みたいと思う?
住みたい。しかし駅周辺の歩きづらさを解消したり、もっと郊外に目を向けるべきだと思う。

Q.2どんなまちだにしたいと思う?
「歩きやすい町田」にしたい。駅周辺に手軽に使える駐輪場がもっとあれば、違法駐輪も混雑もなくなり、訪れる人が増加すると思う。

町全体に
電気をもっ
つける

公園を
もっと
増やす

高齢者が
活躍する

このワークショップで題材にした「まちだニューパラダイム」とは? 2面でご紹介します!

人口と世帯(外国人含む)

人口: 428,572人(男:210,409人・女:218,163人)(前月より7人増) / 世帯: 192,320世帯(前月より54世帯増)

2017年1月1日現在